

JA

KL-P40

取扱説明書

保証書付

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力・編集編

設定編

付録

本機に対応するテープ幅

3.5
mm

6
mm

9
mm

12
mm

18
mm

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

RJA533674-001V01

MO1507-A

© 2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO[®]

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本書中には、以下の用語の®マークを明記していません。

- ・「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。
- ・「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。

使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

もくじ

準備編	12	自由に入力して作る (フリーラベル)	33
各部の名前とはたらき	12	フリーラベルを作る	33
付属品を確認しましょう	13	用途に応じて作る	34
本機の操作の流れ	14	フォーマットを選んで作る (定型フォーマット)	34
電源について	15	名前シールを作る	37
電池で使う	15	フリーラベルの編集機能	39
はじめて使うときは		2行以上のラベルを作る	39
「メモリーの初期化」を！	17	縦書きのラベルを作る	40
電源を入れる・切る	18	裏表が逆さまなラベルを作る	41
オートパワーオフ(節電)機能 について	18	文字の大きさを決める	42
メモリーの復帰について	18	フレームをつける	44
テープカートリッジを		作成したデータを登録する・	
取り付ける/取り外す	19	呼び出す	46
テープカートリッジを		データを登録する	46
取り付ける	19	登録したデータを呼び出す	47
テープカートリッジを取り外す	21	登録したデータを削除する	47
キーのはたらき	22	入力・編集編	48
キーの表記について	24	カーソルのはたらきと	
画面の見かた	25	動かしかた	48
おためし印刷編	26	ローマ字入力?それとも	
まずは作ってみましょう	26	かな入力?	49
ラベルを印刷する	26	ローマ字入力とかな入力を	
テープをカットする	28	切り替える	49
ラベルを貼る	28	入力する文字の切り替え方法	50
テープを空送りする	29	ローマ字入力するとき	50
印刷結果を画面で確認する	29	かな入力するとき	50
印刷時の注意事項	31	ひらがな・カタカナの入力	51
ラベル作成編	32	ひらがなの入力	51
ラベル作成の流れ	32	カタカナの入力	52
操作の流れ	32	いろいろな文字の入力方法	53

漢字の入力	54
文章を入力してから変換する	54
漢字1文字ずつ変換する (単漢字変換)	56
アルファベット・数字・ 記号の入力	57
アルファベットの入力	57
数字の入力	57
記号(キーに印刷されているもの) の入力	58
その他の記号	58
絵文字の入力	59
文字を修正・削除するときは	60
文字を1文字ずつ消す	60
すべての文字を消す(文削除)	61
間違った文字を直す	61
書体(フォント)を変える	63
入力済みの文字の書体を変える	64
電源を入れたときの書体を決める (初期フォント)	65
文字を目立たせる	66
文字に飾りをつける	67

設定編 68

設定を変える	68
設定できる項目	68
画面の明るさを変えたい	69
印刷の濃さを変えたい	69
ラベルの余白を変えたい	70
ラベルをカットする目印(カット マーク)の設定をする	70
電池の設定をする	71
テープ幅を設定する	71

付録 72

電源について	72
別売のACアダプターで使う	72
お手入れの方法	74
綿棒できれいにする	74
クリーニングテープを使う	75
こんなときは (トラブルシューティング)	76
エラーメッセージ一覧	79
電池寿命について	80
ローマ字入力一覧	81
かなめくり入力一覧	83
テープ幅と行数・倍率一覧	83
各機能における使用可能 テープ幅一覧	83
記号・絵文字一覧	84
フレーム一覧	87
定型フォーマット一覧	88
名前シールフォーマット一覧	90
仕様	91
別売品について	92
索引	93
保証・アフターサービスについて	95
アフターサービス窓口について	96

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


⊙ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味していません。


危険

電池について

-  電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。

警告



煙、臭い、発熱などの異常について

-  煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. ACアダプター使用時は、アダプターのプラグをコンセントから抜く。
 3. 電池が入っている場合は、電池をはずす。
 4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- 
 - 必ず指定品を使用する
 - 電源は、指定された電源電圧AC 100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
- 
 - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

警告


ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。


次のことは必ずお守りください。

- 
 - 重いものを乗せたり、加熱しない
 - 加工したり、無理に曲げない
 - ねじったり、引っ張ったりしない
 - アダプター本体にコードを巻きつけない
- 
 - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

ACアダプターについて

- 
 - 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
 - AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
 - AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
 - AC アダプターを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。



ACアダプターについて

- 
 - 外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、ACアダプターはコンセントから抜いてください。ACアダプターに噛みついた場合、ショート(短絡)により、火災や感電の原因となります。


警告

電池について


電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  • 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない
-  • 極性(+と-の向き)に注意して正しく入れる

電池について

-  本機内で電池が液もれしたまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに本機の使用をやめてお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡してください。

落とさない、ぶつけない

-  本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
 3. 電池が入っている場合は、電池をはずす。
 4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

警告

分解・改造しない



本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

水、液体、異物はさける



水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は、電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。


電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない




電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルや容器が変形することがあります。

注意

重いものを置かない

-  本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

-  ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
 - ・ ストープ等の熱器具に近づけない
 - ・ プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない(必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く)
 - ・ プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 - ・ 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
 - ・ ご使用後は本体の電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
 - ・ プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
 - ・ ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない
 - ・ ACアダプターは、ACプラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。
 - ・ ACアダプターは、湿気のないところで保管してください。

注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



• 本機で指定されている電池以外は使用しない



• 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく



• 充電電池を使う場合は、パナソニックグループ製の単3形eneloop(エネルーブ)または、パナソニック株式会社製の単3形充電式EVOLTA(エボルタ)を使用する。

• eneloopまたは充電式EVOLTAを充電する場合は、必ず専用の充電器をご使用ください。

• eneloopまたは充電式EVOLTAを使用する場合は、eneloopまたは充電式EVOLTAや専用充電器の取扱説明書、注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

電池のセットおよび電池交換時の注意



本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

大切なデータは控えをとる



本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

注意

置き場所について

- ❌ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - ・ 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

- ❌ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

高温注意

- ❌ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

表示画面について

- ❌
 - ・ 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
 - ・ 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(74ページ)をご覧ください。プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

各部の名前とはたらき

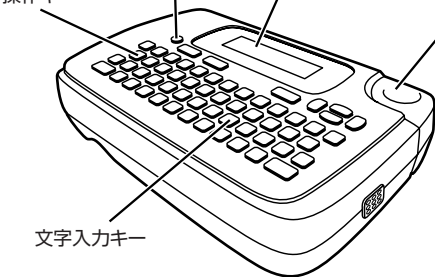
電源キー
電源を入/切するときに
押します。

液晶表示画面

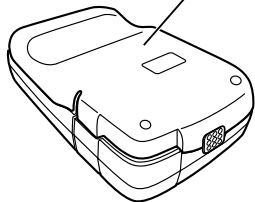
テープカットボタン
テープを切るときに
押します。

操作キー

文字入力キー



背面カバー



テープ出口

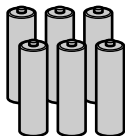
ACアダプター接続端子
別売の専用ACアダプター
を接続します。

付属品を確認しましょう

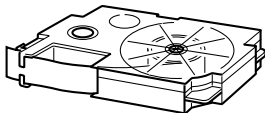
本体



単3形アルカリ乾電池
6本



お試し用テープカートリッジ(9mm幅)



本書(保証書付)
別売品カタログ

- 充電機および充電器は商品に付属していません。
充電機および充電器は電器店、量販店などでお買い求めください。

本機の操作の流れ

電池のセット

15ページ

または別売のACアダプターの接続

72ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。(17ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジの取り付け

19ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 33ページ

フリーラベルの編集機能
39ページ



用途に応じて作る

定型フォーマット

名前シール

34、37ページ



印刷する

27ページ



電源について

本機を使うときは、電源として付属のアルカリ乾電池の他に、市販の充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)や別売のACアダプターを使うことができます。

- ご使用前に「安全上のご注意」(3～10ページ)を必ずご覧ください。
- 別売のACアダプターの接続のしかたは、72ページをご覧ください。

電池で使う

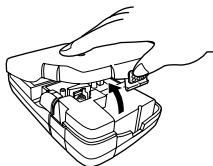
付属の単3形アルカリ乾電池、市販の単3形充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)を6本使用します(必ず6本とも同じ種類の電池を使用してください)。



- 電池は、必ず6本とも新品の単3形アルカリ乾電池、または満充電にした単3形充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単3形充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)を使用する場合は、電池の設定を「ニッケル水素」にしてください(71ページ)。
- 充電電池は、本機にセットしたままでは充電できません。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

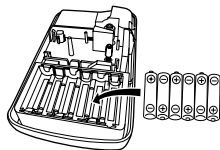
1 本体裏側の背面カバーを取り外します。

背面カバーに無理な力(逆に曲げるなど)を加えないでください。故障の原因となります。

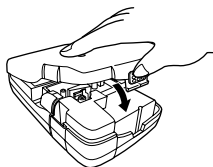


2 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 背面カバーを取り付けます。




- 「電池残り少」と画面に表示されたときは、できるだけ早く新しい電池(別売)と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。充電機を使用している場合は、充電してください。
- 本機をご使用にならない場合も、1年に1度は必ず電池を交換してください。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境でご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、電池やACアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、ACアダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 電池寿命については、80ページをご覧ください。


付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！




ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要  メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 を押し
ます。

2 と をいっしょに押しながら、 を押します。

- 、、 を押していた指はほぼ同時に離します。
- 「メモリー初期化？」が表示されます。

3 を押します。

テープ幅の選択画面が表示されます。

4 を押して、セットしているテープの幅を選択し、 を押 します。

文字入力画面が表示されて、本機が使用可能になります。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。

「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは○を押すだけで本機が使えます。
電源

電源を入れるには…

○を押します。
電源

ページ幅は？



18mm 12mm 9mm

電源を切るには…

○を押します。
電源

しばらくお待ちください



- 画面の明るさを調整するときは、69ページをご覧ください。

オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

ふたたび本機を使うときは、○を押してください。
電源

メモリーの復帰について

文書作成中に電源を切ったりオートパワーオフ機能がはたらいたときは、一時的にメモリーに保存されます。電源を入れて「[実行]で復帰」と表示されたときは、**[実行]**を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます。

- 定型フォーマット、名前シールで作成中の文章は復帰できません。

テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。

付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。

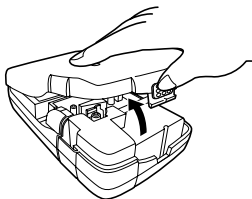
本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mmです。

テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

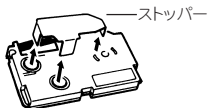
テープカートリッジを取り付ける

1 ○を押して、電源を切ります。
電源

2 本体裏側の背面カバーを取り外します。

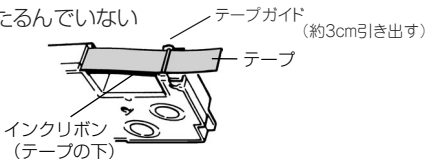


3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



4 テープとインクリボンの状態を確認します。

- テープの先が曲がっていない(曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする)
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない

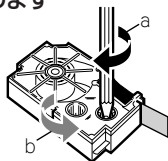




- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

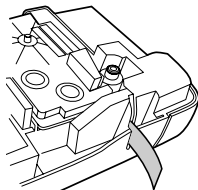
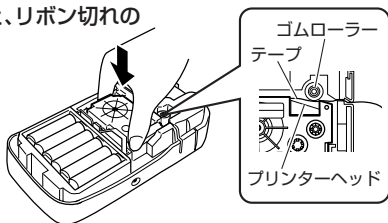


5 テープカートリッジをセットします。

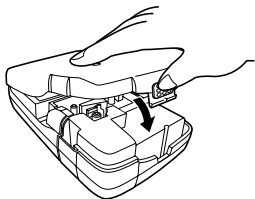
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。



正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



6 背面カバーを閉めます。



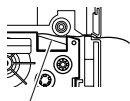
- 背面カバーは、しっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 19ページの手順1～2と同様な操作で、本体裏側の背面カバーを取り外します。

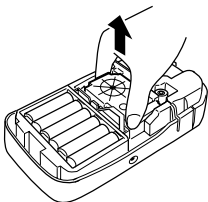


重要！ 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。



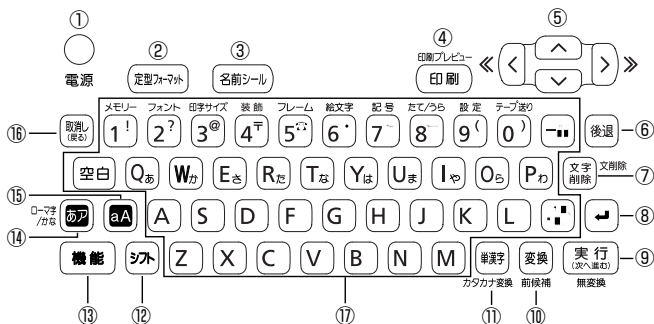
プリンターヘッド

2 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

















キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。









①	○ 電源	電源を入/切するときに押す。
②	定型フォーマット	定型フォーマットを使うときに押す。(34ページ)
③	名前シール	名前シールを作成するときに押す。(37ページ)
④	印刷プレビュー 印刷	<ul style="list-style-type: none"> 印刷するときに押す。 印刷結果を画面で見るときは「機能」を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	◀<>▶	<ul style="list-style-type: none"> 文字が入る位置を示した_ (カーソル) を動かすときに押す。 項目などを選択するときに押す。
⑥	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑦	文字削除 文削除	<p>カーソルの上の文字を消すときに押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入力中の項目の文章をすべて消すときは、「機能」を押し、指を離してからこのキーを押す。

⑧		改行するときに押す。
⑨		<ul style="list-style-type: none"> • 操作を進めるときに押す。 • 漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときは、を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑩		<ul style="list-style-type: none"> • ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 • 1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪		<ul style="list-style-type: none"> • 1文字ずつ漢字に変換するときに押す。 • 入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫		アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(57ページ)
⑬		キーの上下または横に  と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑭		<ul style="list-style-type: none"> • ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(50ページ) • □-マ字入力とかな入力を切り換えるときは、を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑮		アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(50ページ)
⑯		操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑰	(文字キー)	文字を入れるときに押す。



との操作には、以下の2つの方法があります。

1.  ()を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2.  ()を押しながら目的のキーを押す。
 - 本書の操作説明は、「 ()を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を $\boxed{1!}$ や $\boxed{\text{実行}}$ などのように表記しています。

例 $\boxed{1!}$ を押したあとに続けて $\boxed{\text{実行}}$ を押すときの表記



$\boxed{1!}$ $\boxed{\text{実行}}$ と押します。

- 本機のキーの上下または横に $\boxed{\text{機能}}$ と同じ色で書かれている機能（「装飾」や「カタカナ変換」など）を使うには、 $\boxed{\text{機能}}$ を押し、指を離してから $\boxed{\text{機能}}$ と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「装飾」機能を使うときの表記



$\boxed{\text{機能}}$ を押し、指を離してから $\boxed{\overset{\text{装飾}}{4\bar{T}}}$ を押します。

- 操作手順の中で、「 \triangleleft \triangleright \triangleleft \triangleright を押して…」 \triangleleft \triangleright を押して…」 \triangleleft \triangleright を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

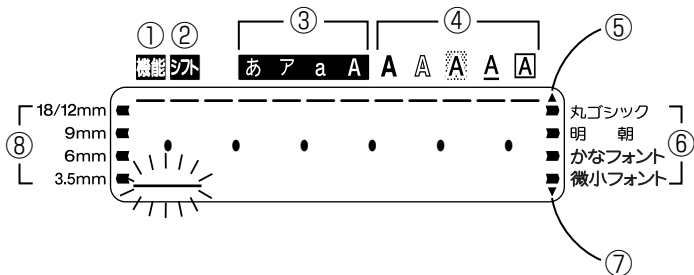
●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは $\boxed{\text{取消}}$ を押します。

● $\boxed{\text{取消}}$ を何回押しても希望の画面に戻らないときは、 \bigcirc を押して一度電源を切ります。 \bigcirc を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、69ページをご覧ください。



①	機能を押したことを示す。
②	シフトを押したことを示す。
③	入力できる文字の種類を示す。(50ページ)
④	装飾(文字体、文字修飾)が何になっているかを示す。(66ページ)
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑥	書体(フォント)が何になっているかを示す。(63ページ)
⑦	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑧	テープ幅設定でセットしているテープの幅を示す。(71ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができれば、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

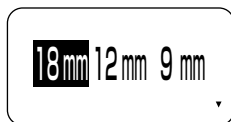
ラベルを印刷する

[印刷例]

パパ冬物

- 1 ○を押して、電源を入れます。

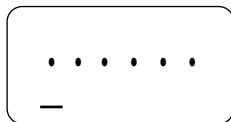
電源



- 2 ▲▼◀▶を押して、セットしているテープの幅を選び、**実行**を押します。

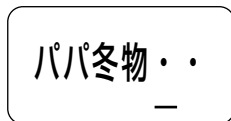
ここでは「9mm」を選びます。

- 入力できる文字数は、80文字です（フリーラベル(33ページ)の場合）。



- 3 文字を入力します。
- ここでは「パパ冬物」と入力します。

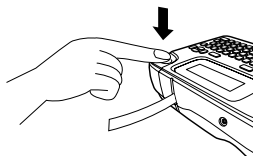
- 文字の入力方法については、30ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に**実行**を押して確定してください。



テープをカットする

1 テープカットボタンを押して、テープをカットします。

- テープを切るときは、本機をかたむけないでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押さないでください。

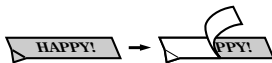


印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープがつかったり、本機が壊れたりすることがあります。

ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。

2 ラベルの裏を剥がして、貼ります。
ラベルの角を折り曲げると、剥がしやすくなります。



- 一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。



次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。

- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料(シリコン系・PP材など)

テープを空送りする

印刷を途中で取り消したときなどに、途中まで印刷されたテープを白紙で送ることができます(テープ送り)。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **0** ^{テープ送り} を押します。
テープが約21mm送られます。

印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **印刷プレビュー** **印刷** を押します。

どのように印刷されるのか、
そのイメージが画面に流れ
ます



- 2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行** を押します。
その部分が止まります。

実行 を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは **取消し** を押します。
- 次の場合は正しくプレビュー表示されないことがあります。
細い線のある文字や字画の多い漢字
幅の狭いテープをセットしているとき
ラベルが2行以上のとき
ラベルに装飾(文字体、文字修飾)をつけたとき

文字の入力について

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(49ページ)

■「パパ」を入力します。

- ① **あア** を何回か押して、画面左上の「ア」の位置に[一]を表示させます。
- ② **(P) (A) (P) (A)**

■「冬物」を入力します。

- ① **あア** を何回か押して、画面左上の「あ」の位置に[一]を表示させます。
- ② **(F) (U) (Y) (U) (M) (O) (N) (O)**
- ③ **変換** を何回か押して、「冬物」が画面に表示されたら**実行** を押します。

- 誤った文字を入力したときは、**文字削除** (60ページ) または **後退** (60ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(48ページ)をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、本体の裏側の背面カバーを絶対に開けないでください。
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまでさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつかったり、故障の原因になります。

反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブについて

反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機で反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

- 1 印刷する
- 2 **機能**を押し、指を離してから^{テープ巻}**0**を押して、テープ送りをする
- 3 テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする
 - ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で行います。

- 本機を使用するための準備の流れについては、14ページをご覧ください。

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル 33ページ
定型フォーマット 34ページ
名前シール 37ページ

登録してある
データ呼び出
して使うときは
(47ページ)

前回作成した
データを使うと
きは
(18ページ)

2 文字を入力する(48ページ)

3 文字を修飾する

書体(フォント)を変える(63ページ)、文字を目立たせる(装飾)(67ページ)

ラベルを印刷(27ページ)・登録(46ページ)する

- 定型フォーマット、名前シールは登録できません。



自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、26ページを参照してください。

操作を簡単に説明すると、以下のようになります。

- 1 を押して、電源を入れます。
電源
- 2 テープ幅を設定した後、「[実行]で復帰」と表示された場合は、を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます(18ページ)。
- 3 自由に文字を入力します。
 - フリーラベルを編集するときは→39ページ

フォーマットを選んで作る(定型フォーマット)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

ファイルラベル・CD-Rラベル・汎用ラベル・期限日ラベルがあります。用途に応じて選択してください。


ここでは、ファイルラベルを例に説明します。

[印刷例]

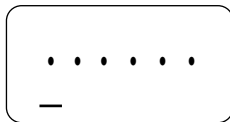


(9mm幅テープ/ファイル/ファイル大/3)

重要 88ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

- 1  を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、**電源** **実行** を押します。

ここではテープ幅を9mmに設定します。



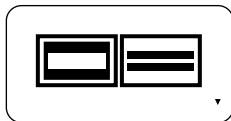
- 2 **定型フォーマット** を押します。



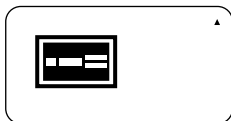
- 3 ▲▼◀▶を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。
ここでは「ファイル」を選びます。



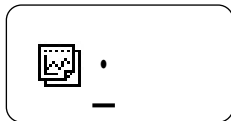
- 4 ◀▶を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。
ここでは「ファイル大」を選びます。



- 5 ▲▼◀▶を押してフォーマットを選びます。
詳しくは「定型フォーマット一覧」(88ページ)をご覧ください。
ここでは▼を1回押します。

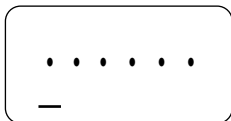


- 6 **実行**を押します。
絵文字が表示されます。



- 7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていないことがあります。
- 他の絵文字に変えるときは、59ページをご覧ください。



8 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは3つの項目を入力します。

- フリーラベルと同様に、文字体(太字、白抜)を選択することができます。フォーマットによっては、枠の設定を変更することができます。

これでラベルデータが完成しました。

印刷 終了

9 を押して**印刷**を選び、**実行**を押すと、印刷が開始されます。



- 印刷をするときは、31ページの注意事項をご覧ください。
- 「期限日」のフォーマットで作成したラベルは、電子レンジやオーブンで使用する物には貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジやオーブンで加熱すると発火や火傷の原因となります。ラベルを貼った物を電子レンジやオーブンで使用する場合は必ずラベルを剥がしてください。

印刷の方向などを設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の方向などを設定することができます。

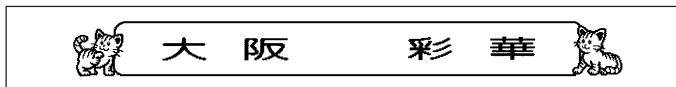
- 印刷方向を縦書きや横書きに設定する
- 表裏が逆さまなラベルを印刷する

設定方法については、40、41ページをご覧ください。

名前シールを作る


小物用やノート用などの名前シールを作ることができます。

[印刷例]

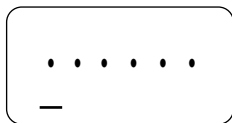


(9mm幅テープ/ノート大/フレーム付き)

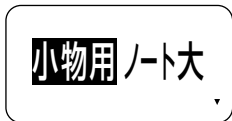
重要 90ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。





- 1  を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、**実行** を押します。

ここではテープ幅を9mmに設定します。



- 2 **名前シール** を押します。



- 3     を押して作成するラベルの種類を選び、**実行** を押します。
ここでは「ノート大」を選びます。

4 ▲▼◀▶を押してフォーマットを選びます。

詳しくは「名前シールフォーマット一覧」(90ページ)をご覧ください。
ここでは▼を1回押します。

5 実行を押します。

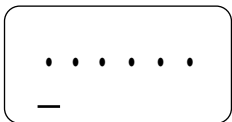
フレームの選択画面が表示されます。

- 選んだフォーマットによって、選択できるフレームの数や種類は異なります。



6 ▲▼◀▶を押してフレームを選び、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類によっては、絵文字を入れることもできます。
- 絵文字入りのフォーマットを選択したときに、絵文字を変更する場合は、絵文字を削除してから別の絵文字を入れてください。



7 36ページの手順8～9と同様な操作で、文字の入力と印刷をします。

重要 作成したシールは、カットマーク(27ページ)に沿ってカットしてください。



2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。





テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9/12/18mm	3行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(42ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]
(12mm幅テープ)

町内連絡網	1行目
最新版	2行目

1 1行目の入力が終わったら、を押した後2行目を入力します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、を押します。
- 改行を取り消すときは、を押してマークを削除します。

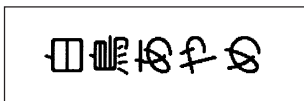
縦書きのラベルを作る

ラベルは、通常は、横書きで印刷されますが、縦書きで印刷することもできます。

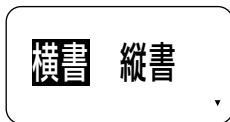
重要 縦書きと横書きがまざったラベルを作ることはできません。



[印刷例]



- 1 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **8** を押します。

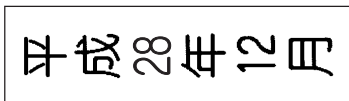


- 2 **△** **▽** **◀** **▶** を押し **縦書** を選び、**実行** を押します。印刷すると、縦書きのラベルになります。

・「横書」に戻すときは、手順2のときに、「横書」を選びます。

■「平成28年12月」などのラベルの作り方

[印刷例]



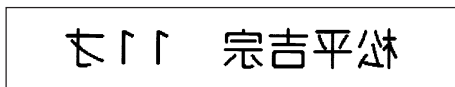
「28」や「12」などは、記号一覧(84ページ)の記号を使用すると、簡単に上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、58ページをご覧ください。

裏表が逆さまなラベルを作る

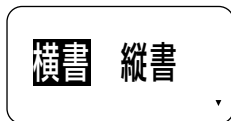
透明ガラスの裏側に透明テープを貼るときや、別売の布転写テープを使ってハンカチやTシャツなどに転写するときは、裏表が逆さまなラベルを作ります。

ラベル全体が裏表逆さまな文字になります。

[印刷例]



- 1 文字を入力した後、**機能** を押し、指を離してから **8** を押します。



- 2 **△** **▽** **◀** **▶** を押して、**横裏** を選び、**実行** を押します。
印刷すると、裏表が逆さまなラベルになります。

• 縦書きで、裏表が逆さまのラベルを作るときは、手順2で**縦裏**を選びます。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(ジャストフィット印刷)。

ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

文字単位で「1×1」～「4×4」倍まで文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 83ページ)。

1×1	2×3	3×3
禁煙	禁煙	禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されず(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

1×2(横書き)	1×2(縦書き)
終日禁煙	終日禁煙

【例】 「禁煙」を1×3にする

- 文字を入力した後、**機能**を押し、指を離してから^{印字サイズ}**(3[®])**を押します。ジャストフィット印刷のサイズが表示されます。

縦 **2** × 2 横

2 「1~4」の数字を直接入力して、文字サイズを指定します。
ここでは、[1][3]と押します。

- 文字サイズの指定は△▽◁▷でも行うことができます。



縦 **1** × 3 横

3 **実行**を押します。
「どこから?」と表示された後、範囲の指定画面が表示されます。



禁煙
—

4 ◁▷を押して、指定する範囲の先頭(ここでは「禁」)にカーソルを移動して、**実行**を押します。
「どこまで?」と表示された後、範囲の終点を指定する画面が表示されます。



禁煙

5 ◁▷を押して、指定する範囲の最後にカーソルを移動して、**実行**を押します。

フレームをつける

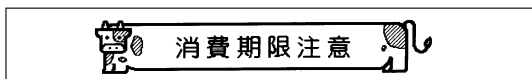
フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は87ページをご覧ください。

■イラスト、飾りフレームをつける















重要  3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。



[印刷例]



(9mm幅テープ)

- 1 文字を入力します。
- 2  を押し、指を離してから ^{フレーム} を押します。
- 3   を押して、フレームの分類を選び、 を押します。
ここでは **イラスト** を選びます。
- 4     を押して使うフレームを選び、 を押します。
ここでは  を選びます。
- 5   を押して **印刷** を選び、 を押します。
印刷が開始されます。
・「文字修飾」の指定は無効になります。



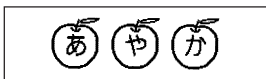
印刷するときは、31ページの注意事項をご覧ください。

■文字単位でフレームをつける



3.5mm/6mm幅テープでは文字単位のフレームをつけることはできません。

[印刷例]



1 44ページの手順3で**文字**を選び、**実行**を押します。

2 **△▽◁▷**を押して使うフレームを選び、**実行**を押します。
ここでは[りんご]を選びます。

3 **◁▷**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。
印刷が開始されます。

- 文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。
- 「文字修飾」の指定は無効になります。
- 文字の大きさの設定は無効になり、常に1×1倍となります。

フレーム印刷できる行数

フレームの種類とテープ幅により印刷できる行数は異なります。

	18mm幅	12mm幅	9mm幅	6mm幅
イラスト、飾りフレーム	3行以内	3行以内	2行以内	1行
文字単位フレーム	1行	1行	1行	—

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データは5件まで登録できます。

- 1 文字を入力した状態で、**機能**を押し、指を離してから^{メモリー}**1!**を押します。

登録呼出削除

- 2 ◀▶を押して**登録**を選び、**実行**を押します。


登録名の入力画面が表示されます。

.....
—

- 3 登録名を入力し、**実行**を押します。
登録名は5文字まで入力できます。

1 (未登録)

- 4 ▲▼を押して登録する場所(1~5)を選び、**実行**を2回押します。「しばらくお待ちください」に続いて「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

- 重要**  **すでに登録されている場所に上書きで登録しようとする、「上書きしますか?」と表示されます。上書きで登録すると前の登録データは失われます。**
- 定型フォーマット、名前シールは登録できません。

登録したデータ呼び出す

登録したデータは、「データを登録する」の1の画面から呼び出します。

- 1 ◀▶を押して**呼出**を選び、**実行**を押します。
登録名が表示されます。

1 自分用

- 2 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を2回押します。
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、「データを登録する」の1の画面から削除することができます。

- 1 ◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。
登録名が表示されます。
- 2 ▲▼を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。
「削除しますか?」と表示されます。
- 3 **実行**を押します。
「しばらくお待ちください」に続いて「削除完了」と表示され、手順1に戻ります。
 - データ削除の操作をやめるときは**取消し**を押します。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、フォント、装飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している_をカーソルといいます。

カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



⏪	左にカーソルが移動する	⏩	右にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから<<⏪を押す	文章の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから⏩>>を押す	文章の最後にカーソルが移動する

スクロールとは

画面にかくれている文字を見るためには、⏪ ⏩を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

(⏪ ⏩を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

ローマ字入力？それとかな入力？

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。

文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

- かな入力とは…

「く」なら[か]を3回など携帯電話と同じ感覚で入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り替える

機能を押し、指を離してから**あア**を押します。

画面に「かな」と1秒間表示されて、かな入力になります。

もう一度**機能**を押し、指を離してから**あア**を押すと、画面に「ローマ字」と1秒間表示されて、ローマ字入力に戻ります。

「設定」で切り替えるには

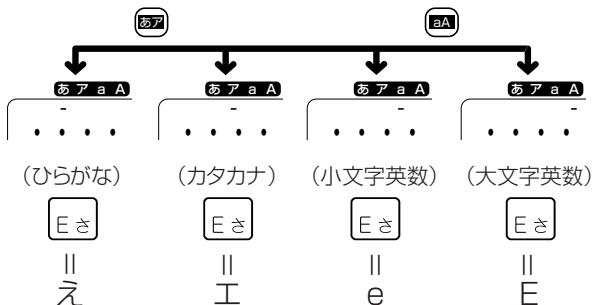
- 1 **機能**を押し、指を離してから^{設定}**9**を押します。
- 2 **△****▽****◀****▶**を押して「入力」を選び、**実行**を押します。
- 3 **▽**を押して「ローマ字」と「かな」の設定画面にします。
- 4 **◀****▶**を押して「ローマ字」または「かな」を選び、**実行**を押します。

入力する文字の切り替え方法

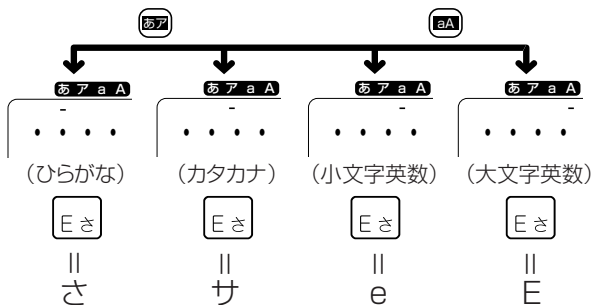
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。**あア**や**ぁA**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは**え**を例にとって、説明します。

ローマ字入力するとき



かな入力するとき



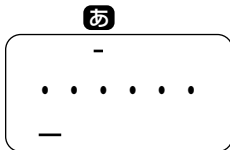
ひらがな・カタカナの入力

ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

【例】 さくら

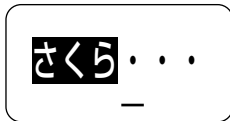
1 **あア** を何回か押して、上側の「あ」に「-」をつけます。



2 **S** **A** **K** **U** **ま** **R** **た** **A** と押します。

• かな入力的时候は…

E **さ** **W** **が** **W** **が** **W** **が** **O** **ら**




(かな入力時の詳細については「かなめくり入力一覧」(83ページ)をご覧ください)

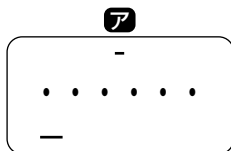
3 **機能** を押し、指を離してから **実行** を押します。







「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力






【例】 サクラ

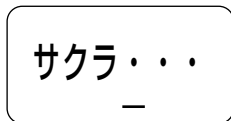
1 を何回か押して、上側の「ア」に「ー」をつけます。



2       と押します。

• かな入力のときは…






(かな入力時の詳細については「かなめぐり入力一覧」(83ページ)をご覧ください)

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

【例】 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

②  となっているときに、 を押し、指を離してから  を押し、
カタカナ変換

 が「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	Iや Tな Tな A	Qあ Qあ Rた Rた Rた Rた Rた Rた > Rた
拗音	きょう	K Yは Oら Uま	Wが Wが Iや Iや Iや Iや Iや Iや Qあ Qあ Qあ
濁音	ぼく	B Oら K Uま	Yは Yは Yは Yは Yは ☐ Wが Wが Wが
半濁音	ぱぱ	Pわ A Pわ A	Yは ☐ ☐ Yは ☐ ☐
句点	。	☐	☐
読点	、	シフト ☐	シフト ☐
長音	ー	シフト 8	シフト 8
中黒	・	シフト 6	シフト 6
を		Wが Oら	Pわ Pわ
ん		N N	Pわ Pわ Pわ
空白		空白	空白
ヴ		「ア」表示(カタカナ 入力状態)のときに V Uま	「ア」表示(カタカナ 入力状態)のときに Qあ Qあ Qあ ☐
カ		X K A または K シフト A	Wが Wが Wが Wが Wが Wが
ケ		X K Eさ または K シフト Eさ	Wが Wが Wが Wが Wが Wが Wが

ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(81ページ)を参照してください。

かな入力時の詳細については「かなめくり入力一覧」(83ページ)を参照してください。

- * ローマ字入力のときは(シフト)と組み合わせて文字キーを押すと小文字(拗音)になりますが、**やゆよあいう** など拗音にすることができる文字に限ります。(小文字の入力については82ページを参照してください。)

- 「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**(実行)**を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- 文章を入力してから変換する
- 漢字1文字分ずつ変換する(当て字やむずかしい固有名詞などの変換)

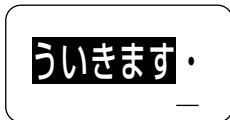
文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。

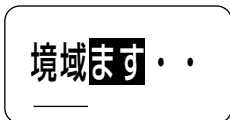
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

[例] 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 **(変換)**を押します。
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線がついています

3 **(左向き矢印)**を2回押します。
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



「今日」に変換されます

4 **実行**を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 **⊙**を2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

今日意気ます

6 **変換**を何回か押して、「行きます」にします。

変換を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉(同音異義語)が次々と表示されます。

- **機能**を押し、指を離してから**変換**を押す、または**△**を押すと、1つ前の漢字が表示されます(前候補)。

今日行きます

7 「行きます」が表示されたら、**実行**を押します。

「行きます」が確定されます。

日行きます・

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに**取消し**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう → 今日 → きょう

「よみ」を入れて**変換**を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。(56ページ)

漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

当て字やむずかしい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ変換します。

【例】 敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。

2 **単漢字**を押します。
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます。

集暑熱圧厚篤

3 **△****▽****◇****○**を押して、**敦**にします。

4 **実行**を押します。
「敦」が確定されます。

敦ひろ・・・

5 **単漢字**を押した後、**△****▽****◇****○**を押して、**廣**にし、**実行**を押します。
「廣」が確定されます。

・3のときにもう一度**単漢字**を押すと変換対象の範囲が「あつ」から「あ」となります。
(**単漢字**を押すごとに、変換対象の範囲が変化します。)

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ?

次のようなことが考えられます。

- ・「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- ・「囟(ず)」を「づ」と入力している
- ・「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- ・「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。


- ・「あ」「い」「う」「え」「お」「や」「ゆ」「よ」の拗音、「っ」の促音
- ・「ず」と「づ」、「じ」と「ぢ」、「お」と「う」

アルファベット・数字・記号の入力

アルファベット、数字、記号の入れかたを説明します。

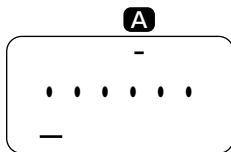
アルファベットの入力

[例] AKI

1 を何回か押して、上側の「A」または「a」に「ー」をつけます。

A : 大文字の入力時


a : 小文字の入力時



2   と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

・カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには


を何回か押して、画面上の「A」か「a」に「ー」をつけます。

この状態で次のキーを押します。

ピリオド:  カンマ: を押し、指を離してから を押す


・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「A」表示のとき

を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

 **TAKESHI's**

「a」表示のとき

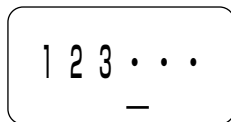
を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

 **English**

数字の入力

[例] 1 2 3

1   と押します。

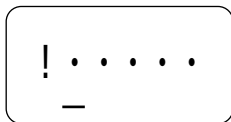


記号(キーに印刷されているもの)の入力

キーの右上に印刷されている記号



- 1 **シフト**を押し、指を離してからキーを押します。
キーの右上に印刷されている記号が入ります。



その他の記号

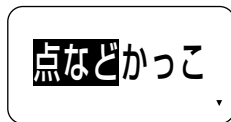
…《》☞ 4 ♥ キロ ム ♪ など

記号は「点など」「かっこ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「その他」の7つのグループに分かれています。84ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

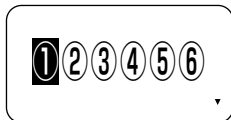
【例】 ⑤(グループ名……数字)

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{数字}**7**を押します。

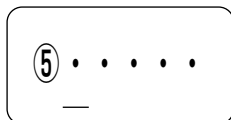
記号のグループ名



- 2 **△▽◀▶**を押して**数字**にし、**実行**を押します。



- 3 **△▽◀▶**を押して**⑤**にし、**実行**を押します。



絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は12のグループに分かれています。

84～86ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

【例】  (グループ名……食べ物)




1  を押し、指を離してから  を押し
 ます。

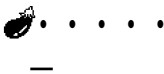
絵文字のグループ名

予定 乗り物

2  を押して **食べ物** にし、 を
 押します。



3  を押して  にし、 を押
 します。





文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

【例】 「たたろう」の「た」を消して「たろう」に直す

- 1   を何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。

たたろう・
—

- 2  を押します。
「たろう」になります。


たろう・
—

■カーソルの前の文字を消す

【例】 「たろうう」の最後の「う」を消して、「たろう」に直す

- 1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。

たろうう・
—

- 2  を押します。
「たろう」になります。

たろう・
—

すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** と押します。

「削除しますか?」と表示されます。

2 **実行** を押します。

・画面にあった文字はすべて消えます。

間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入:文字と文字の間に新しい文字を追加できます。

上書き:表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。

■「上書き」にするとき

シフト を押し、指を離してから **あア** を押します。

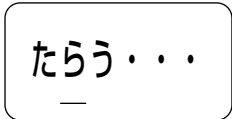
画面に「上書き」と1秒間表示されて「上書き」状態になります。

もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あア** を押し、画面に「挿入」と1秒間表示されて「挿入」状態に戻ります。

■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

[例] 「たらう」を「たろう」に直す

1 **左** **右** を押して「ら」にカーソルを合わせます。



たらう...

2 **文字削除** を押します。

「ら」が削除され、「う」が「ら」の位置に移動します。

- 3 「ろ」を入力し、**機能** を押し、指を離してから **実行** を押します (確定します)。

たろう・・・
—

■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

- 1 ◀▶ を押して「ら」にカーソルを合わせます。

たらう・・・
—

- 2 「ろ」を入力します。
「ら」が「ろ」になります。

「設定」で切り替えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** を押します。
- 2 ▲▼◀▶ を押して「入力」を選び、**実行** を押します。
- 3 ◀▶ を押して「挿入」または「上書き」を選び、**実行** を押します。

確定前に文字を消すには

たたらう など、文字に■が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、カーソルを消したい文字に合わせて **文字削除** を押して消します。また、**取消し** を押すと、■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→54ページ

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体、かな・英数6書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体(かな・英数を除く)

丸ゴシック体	明朝体
亜	亜

■かな・英数書体

丸ゴシック体	明朝体
あアA1	あアA1
ボンジュール	メロディ
あアA1	あアA1
パレット	プロデュース
あアA1	あアA1

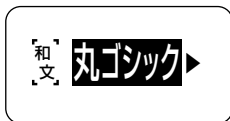
- ・メモリーリセット後は、「和文:丸ゴシック体」「かな・英数:和文と同じ(丸ゴシック体)」に設定されています。

定価 ¥ 39,800

【例】（「定価」を丸ゴシック体に、「¥39,800」をメロディにする）

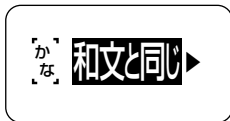
1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してからを **2?** ^{フォント} 押し
ます。



3 **⊙ ⊙** を押して **丸ゴシック** を選び、**実行** を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

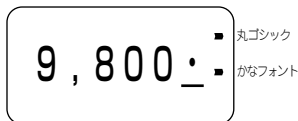


4 **⊙ ⊙** を押して **メロディ** を選び、**実行** を押します。

（かな・英数の書体の種類を選びます。）

- **和文と同じ** を選ぶと、和文と同じ書体の設定になります。
- **和文と同じ** 以外を選んだときは、かな・英数の書体は、手順4で選んだ書体になります。和文と、かな・英数の書体を同じにしたい場合は、**和文と同じ** を選んでください。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める(初期フォント)

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** を押します。
- 2 **△** **▽** **◀** **▶** を押して **フォント** にし、**実行** を押します。
- 3 **◀** **▶** を押して和文書体のフォント名を選び、**実行** を押します。
- 4 **◀** **▶** を押してかな英数書体のフォント名を選び、**実行** を押します。
- 5 **○** を押して一度電源を切り、再び **○** を押して電源を入れます。
電源 電源
- 6 文字入力 of 画面を表示させます。
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- メモリーに登録されているデータや、「[実行]で復帰」で呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

微小フォントについて

- 行数(入力した行数または選んだフォーマットの行数)と、テープ幅によって、「微小フォント」となります(83ページ)。
- 微小フォントに設定されているときは、画面右下に「微小フォント」の「**■**」が点灯します。
- 微小フォントには、次のような特徴があります。
 - ・フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
 - ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」にして目立たせることができます(文字体)。

- ・ 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準	太字	白抜
住所録	住所録	住所録

1 文字を入力します。

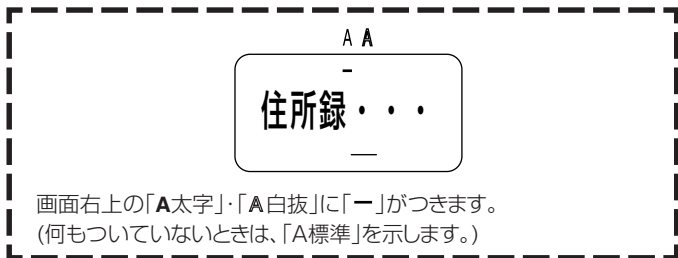
2 **機能** を押し、指を離してから^{裝飾}**4** を押します。

3 **◀ ▶** を押して**文字体** を選び、**実行** を押します。



4 **△ ▽ ◀ ▶** を押して文字体の種類を選び、**実行** を押します。

- ・ **A 標準** を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- ・ 設定後、文字入力画面に戻ります。



画面右上の「A 太字」・「A 白抜」に「-」がつきます。
(何もついていないときは、「A 標準」を示します。)

文字に飾りをつける

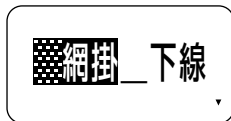
文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。

網 掛	下 線	枠付
修飾	修飾	修飾

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **4^{装飾}** を押します。

3 **◀ ▶** を押し、**もじ修飾** を選び、**実行** を押します。



4 **⊙ ⊖ ⊙ ⊙** を押し、文字修飾の種類を選び、**実行** を押します。

- **取消** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。
- 定型フォーマット、名前シールでは、フォーマットによって「枠付」に固定されているものと「枠付」を選べるものがあります。「網掛」はフォーマットによっては固定されています。「下線」を選ぶことはできません。
- 設定後、文字入力画面に戻ります。

文字修飾を重ねることもできます

手順2～4の操作を繰り返して設定してください。

特 売

網掛＋枠付

特 売

網掛＋下線

- ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

機能 を押し、指を離してから **設定** を押し、右の画面が表示されます。

△▽◀▶ で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

入力 輝度

• 設定に入るときの画面によっては、一部の項目が表示されないことがあります。

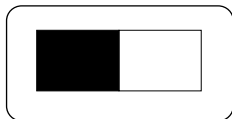
設定項目		内容	ページ
入力	挿入/上書き	入力モードを切り替える	62
	ローマ字入力/かな入力	入力方法を定める	49
輝度		画面の濃淡を調整する	69
濃度		印刷の濃さを調整する	69
フォント(初期フォント)		入力文字の最初の書体を定める	65
余白		ラベルの余白を設定する	70
カットマーク		ラベルをハサミでカットするときの目印(カットマーク)を付けるかどうかを設定する	70
電池		アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池(eneloop、充電式EVOLTA)のどちらを使うか定める	71
テープ幅		テープ幅を設定する	71

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

1 **機能** を押し、指を離してから^{設定}**9** を押します。

2 **▲▼◀▶** を押して「輝度」を選び**実行** を押します。



3 **◀▶** を押して明るさを調整し、**実行** を押します。
◀ を押すごとに淡く、▶ を押すごとに濃くなります。

印刷の濃さを変えたい

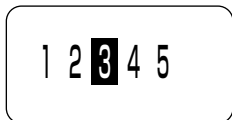
印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 **機能** を押し、指を離してから^{設定}**9** を押します。

2 **▲▼◀▶** を押して「濃度」を選び**実行** を押します。

3 **◀▶** を押して濃さを設定し、**実行** を押します。

1 にすると1番薄く印刷され、**5** にすると1番濃く印刷されます。



- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

ラベルの余白を変えたい

ラベルの余白を2種類から選択することができます。

1 **機能**を押し、指を離してから^{設定}**9**を押します。

2 **△****▽****◀****▶**を押して「余白」を選び**実行**を押します。

余白小 余白大

3 **◀****▶**を押して「余白小」または「余白大」を選び、**実行**を押します。

・ 余白の長さは次の通りです。

余白小: 3.0mm

余白大: 約18.5mm

ラベルをカットする目印(カットマーク)の設定をする

印刷したラベルをハサミでカットするときの目印(カットマーク)を付けるかどうかを設定することができます。

1 **機能**を押し、指を離してから^{設定}**9**を押します。

2 **△****▽****◀****▶**を押して「カットマーク」を選び**実行**を押します。

マークあり マークなし

3 **◀****▶**を押して「マークあり」または「マークなし」を選び、**実行**を押します。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(eneloop、充電式EVOLTA)のどちらを使うかを設定します。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 **機能**押し、指を離してから^{設定}9を押します。

2 ▲▼◀▶を押して「電池」を選び、**実行**を押します。



3 ▲▼を押して「ニッケル水素」を選び、**実行**を押します。
「アルカリ」を選んで**実行**を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

テープ幅を設定する

テープ幅の設定を変更することができます。

1 **機能**押し、指を離してから^{設定}9を押します。

2 ▲▼◀▶を押して「テープ幅」を選び**実行**を押します。

3 ▲▼◀▶を押してテープ幅を設定し、**実行**を押します。

付 録

電源について

本機を使うときは、電源として付属のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池の他に、別売のACアダプターを使うことができます。

・ご使用前に「安全上のご注意」(3～10ページ)を必ずご覧ください。

別売のACアダプターで使う

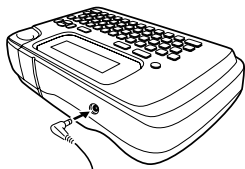
別売のACアダプター(AD-A95100L)を使用すると、電池をセットしなくても本機を使うことができます。

■取り付ける



- ・指定のACアダプター以外は使用しないでください。
- ・「電池をセットした状態」で、ACアダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

- 1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続端子に差し込みます。



- 2 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。

■取り外す



- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 「電源が入っている状態」や、電源を切った後も、表示画面が完全に消えるまでは、ACアダプターや電池(15ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。

1

を押して電源を切ります。
電源

2

コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3

本機のACアダプター接続端子からACアダプターのプラグを抜きます。



電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

- ACアダプターのコードで、テープ出口をふさがないように注意してください。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする



- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

1 本体裏側の背面カバーを開けます。

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

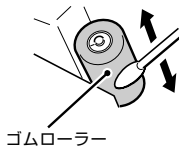
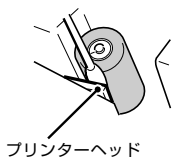


- 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。

- ゴムローラーは、**機能**を押し、指を離してから、**0**を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。



クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-18CLE)を使うこともできます。



- 1 本体裏側の背面カバーを開けます。
 - ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。



印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

- 2 クリーニングテープを本機に装着します。

- 3 を押して電源を入れます。
電源

- 4 を押し、指を離してから^{テープ送りの}を押して、「テープ送り」を1～2回行います。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。







本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」(17ページ)をしてください(メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えをとってください)。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●○を押して も何も表示 されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。(69ページ)
	電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している	新しい電池(別売)と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。充電電池を使用している場合は、充電してください。
	電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。(16ページ)
	ACアダプターがきちんと接続されていない	別売のACアダプターを正しく接続してください。(72ページ)
●正しく終了するが何も印刷されない	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
●印刷が不鮮明になった	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。(74ページ)
●印刷がきれいにできない	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(19ページ)
●印刷が薄い		

症状	考えられる原因	ご確認ください
<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い 	電池が消耗している	新しい電池(別売)と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。(69ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷されない ● 印刷中に電源が切れる 	電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している	新しい電池(別売)と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 目的の漢字に正しく変換されない 	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	 または  を押して変更してください。(50ページ)
<ul style="list-style-type: none"> ● などの機能キーを押しても画面が変わらない 	ひらがなに■が重なっている 例  漢字に下線がついている 例 	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
<ul style="list-style-type: none"> ● を押してもテープが出てこない 	本機の背面カバーがしっかりと閉まっていない	背面カバーをしっかりと閉めてください。(16ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(19ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● <small>インクリボン</small> (印) を押し てもテープ が出てこな い	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つ まったテープを指で引き出します。 引き出したテープはハサミなどで カットしてください。そのあと、正しく セットし直します。(20ページ)
	電池が消耗している	新しい電池(別売)と交換するか、 別売のACアダプターをご使用く ださい。 充電池を使用している場合は、充 電してください。
	テープカートリッジのストッ パーを外していない	19ページの「テープカートリッ ジを取り付ける」にしたがって、 ストッパーを外してからセット してください。
● インクリボン がテープと いっしょに テープ出口 からでてき た	インクリボンがたるんでい るままで、テープカートリッ ジをセットした	テープカートリッジを取り出します。 インクリボンが切れていないことを 確かめてから、テープを巻きとって ください。そのあと正しくセットし直 してください。(20ページ)
● テープが切 れない	テープ出口にテープがつ まっている	電源を切って、テープカートリッジを 取り出し、つまったテープを取り除 いてください。
● ラベルが貼 れない	貼る場所やものが適して いない	表面がザラザラしているもの、水や 油がついているもの、汚れているも のなどには貼れません。(28ペー ジ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
初期化してください	<ul style="list-style-type: none"> メモリー初期化をしないで、文章を印刷しようとした場合。 ➡メモリー初期化の操作をしてください。 電池消耗などにより、一時保存文章が消えたり、変化している状態で電源を入れた場合。 ➡メモリー初期化の操作をしてください。 	17
文字が未入力	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入力していない状態で印刷しようとした場合。 ➡文字を入力してから、印刷操作をしてください。 	—
文字数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 「フリーラベルで文字を80文字以上入力しようとした場合」、「未確定文字を32文字以上入力しようとした場合」、または「定型フォーマット、名前シールで決められた文字数以上入力しようとした場合」。 ➡文章の文字数を減らしてください。 	88 90
電池残り少	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗した場合。 ➡新しい電池(別売)と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。充電機を使用している場合は、充電してください。 10℃未満の低温下で使用した場合。 ➡使用温度範囲(10℃～35℃)でご使用ください。 	15
候補なし	<ul style="list-style-type: none"> 単漢字変換で、候補の漢字がない場合。 ➡(取消)を押して違う読みを入力してください。 	56
行数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 入力できる行数を超えて改行しようとした場合。 ➡テープ幅を変えてください。 印刷できる行数を超えて印刷またはフレーム印刷しようとした場合。 ➡行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	39 45
6mm以下をセット	<ul style="list-style-type: none"> 定型フォーマットで、セットされているテープ幅では印刷できない場合。 ➡テープ幅を変えてください。 	88

メッセージ	原因と対処	参照ページ
6mm以上をセット	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷で、セットされているテープ幅では印刷できない場合。 ➡ テープ幅を変えてください。 	83
9mm以上をセット	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷、定型フォーマット、名前シールで、セットされているテープ幅では印刷できない場合。 ➡ テープ幅を変えてください。 	83 88 90
テキスト削除？	<ul style="list-style-type: none"> 定型フォーマット、名前シールを行おうとしたときにすでに文字が入力されていた場合。 ➡ 文字を削除して定型フォーマット、名前シールを行う場合は、実行を押してください。 ➡ 文字を削除したくない場合は、取消しを押してください。 	—
データ未登録	<ul style="list-style-type: none"> 登録されていない場所を呼び出しや削除しようとした場合 ➡ 別の登録データを選択してください。 	47

電池寿命について

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約4巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。

データの保持について

- 本機に登録しているデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。

ローマ字入力一覧


ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	い	え
	YA		YU	YE	YO










ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN, N+子音				
	MP+母音, MB+母音				
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くゐ		くゑ	くゎ
	QA	QI		QE	QO
くわ行	くわ	くゐ	くゑ	くゎ	くゑ
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐわ行	ぐわ	ぐゐ	ぐゑ	ぐゎ	ぐゑ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しゑ	しよ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じゐ	じゅ	じゑ	じよ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちゐ	ちゅ	ちゑ	ちよ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢゐ	ぢゅ	ぢゑ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つあ行	つあ	つい	つえ	つお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てや行	てや	てい	てゆ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でや行	でや	でい	でゆ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とう		とう			
		TWU			
どう		どう			
		DWU			
にや行	にや	にい	にゆ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひや行	ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びや行	びや	びい	びゆ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴや行	ぴや	ぴい	ぴゆ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふあ行	ふあ	ふい	ふえ	ふお	
	FA	FI	FE	FO	
ふや行	ふや	ふい	ふゆ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶや行	ぶや	ぶい	ぶゆ	ぶえ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みや行	みや	みい	みゆ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りや行	りや	りい	りゆ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶあ行	ぶあ	ぶい	ぶえ	ぶお	
ヴア行	ヴァ	ヴィ	ヴエ	ヴォ	
	VA	VI	VU	VE	VO

- カタカナを入力する場合は、を何回か押して、上側の「ア」に「ー」を付けてから入力してください。

小文字(拗音・促音)

あ XA  + A	い XI  + I	う XU  + U	え XE  + E	お XO  + O
や XYA Y  A	ゆ XYU Y  U	よ XYO Y  O	わ XWA W  A	

つ XTU, XTSU, LTU T  U, TS  U	か XKA K  A	け XKE K  E
--	---	---

- N以外の子音を2度入力しても「っ」や「っ」になります。

かなめくり入力一覧

かな入力するときの、キーを押す回数の一覧表です。

キーを押す回数 文字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
あ	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
か	か	き	く	け	こ	か	け			
さ	さ	し	す	せ	そ					
た	た	ち	つ	て	と	っ				
な	な	に	ぬ	ね	の					
は	は	ひ	ふ	へ	ほ					
ま	ま	み	む	め	も					
や	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	よ				
ら	ら	り	る	れ	ろ					
わ	わ	を	ん	ー	、	。	わ	ぬ	系	

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	参照ページ	
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	39ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	3行	—	42ページ 65ページ
最大“縦”倍率	微小 1倍	標準 1倍	標準 2倍	標準 3倍	標準 4倍	65ページ 42ページ	

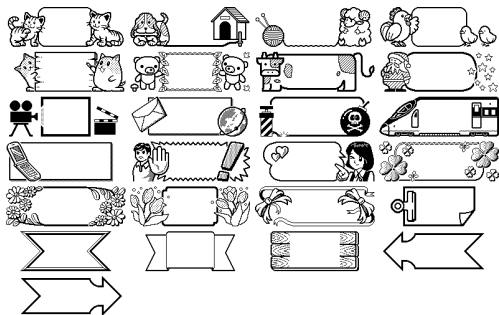
各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm
フリーラベル	○	○	○	○	○
フレーム(イラスト、飾り)	×	○	○	○	○
フレーム(文字単位)	×	×	○	○	○
定型フォーマット、名前シール※	○	○	○	○	○

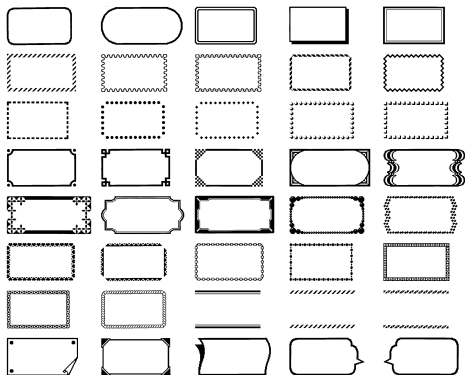
※ 使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、フォーマット一覧(88ページ)をご覧ください。

フレーム一覧

●イラストフレーム



●飾りフレーム



●文字単位フレーム



定型フォーマット一覧

用途	規格	方向	フォーマット	入力可能文字数	印刷可能テープ幅				
					18	12	9	6	3.5
ファイル(6種類)	ファイル大	縦		タイトル29文字					
		縦		タイトル36文字 コメント36文字	○	○	○	-	-
		縦		絵文字2文字 タイトル19文字 コメント26文字 コメント26文字					
	ファイル小	縦		タイトル22文字					
		縦		タイトル36文字 コメント36文字	○	○	○	-	-
		縦		絵文字2文字 タイトル13文字 コメント21文字 コメント21文字					
CD-R(5種類)	CD-R表	横		タイトル24文字					
		横		タイトル36文字 コメント36文字	○	○	○	-	-
		横		タイトル16文字 コメント22文字 コメント22文字					
	CD-R背	横		タイトル72文字	-	-	-	○	○
		横		タイトル48文字 コメント22文字					
汎用(12種類)	5.0cm	横		タイトル9文字					
		横		タイトル14文字 コメント14文字					
		横		タイトル9文字 コメント10文字 コメント10文字	○	○	○	-	-
		横		コメント10文字 コメント10文字 タイトル9文字					

用途	規格	方向	フォーマット	入力可能文字数	印刷可能テープ幅				
					18	12	9	6	3.5
汎用 (12種類)	10.0cm	横		タイトル20文字					
		横		タイトル31文字 コメント31文字					
		横		タイトル15文字 コメント16文字 コメント16文字	○	○	○	-	-
		横		コメント16文字 コメント16文字 タイトル15文字					
	15.0cm	横		タイトル32文字					
		横		タイトル36文字 コメント36文字					
		横		タイトル19文字 コメント18文字 コメント18文字	○	○	○	-	-
		横		コメント18文字 コメント18文字 タイトル19文字					
期限日 (7種類)	賞味期限	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	消費期限	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	開封日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	調理日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	冷凍日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	開始日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-
	交換日	横		用途30文字 日付30文字	○	○	○	-	-

名前シールフォーマット一覧

用途	規格	方向	種類	フォーマット	入力可能文字数	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
小2物 用類		横	1行		名前16文字	○	○	○	○	○
		横	1行		名前16文字					
ノート大 (6種類)	基本	横	1行		名前16文字					
		横	2行		年・組24文字 名前16文字					
	フレーム付	横	1行		名前16文字					
		横	2行		年・組16文字 名前11文字					
	絵文字付	横	1行		絵文字1文字 名前14文字					
		横	2行		絵文字1文字 年・組22文字 名前14文字					
ノート小 (6種類)	基本	横	1行		名前12文字					
		横	2行		年・組18文字 名前12文字	○	○	○	-	-
	フレーム付	横	1行		名前12文字					
		横	2行		年・組12文字 名前12文字					
	絵文字付	横	1行		絵文字1文字 名前15文字					
		横	2行		絵文字1文字 年・組28文字 名前15文字					
住所 (3種類)	基本	横	2行		住所48文字 名前24文字					
	フレーム付	横	2行		住所33文字 名前16文字					
	絵文字付	横	2行		絵文字1文字 住所44文字 名前22文字					

仕様

形式 : KL-P40
入力

入力方法 : ローマ字入力、かなめくり入力

変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約46,000語

単漢字変換 約13,000語

文字種

5,035文字

漢字: 4,166文字 (JIS第1水準: 2,965文字 / JIS第2水準: 1,201文字)

ひらがな: 83文字 / カタカナ: 86文字 / 数字: 10文字 /

アルファベット: 52文字 / 記号: 187文字 / 絵文字: 451文字

表示

液晶表示 : 96×16ドット

入力部分 : 6桁×1行

印刷

印字密度 : 200dpi

印刷方式 : 熱転写方式

印字速度 : 約6mm/秒

最大印刷幅 : 約12mm

- a) 2mm (テープ幅 3.5mm) b) 4mm (テープ幅 6mm)
c) 7mm (テープ幅 9mm) d) 10mm (テープ幅 12mm)
e) 12mm (テープ幅 18mm)

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 丸ゴシック体 / 明朝体 / ボンジュール / メロディ /
パレット / プロデュース
(ボンジュール / メロディ / パレット / プロデュースは
かな・英数のみ)

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜

文字修飾 : 網掛・下線・枠付

印字行数 : 3.5mm幅テープ使用時 1行印刷可能

6mm幅テープ使用時 1～2行印刷可能

9/12/18mm幅テープ使用時 1～3行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶	: 1件(フリーラベルのみ:80文字)
文字登録用の記憶	: 5件(フリーラベルのみ:80文字)
単漢字変換学習	: 10語

登録

テキストエリア一括登録(上書き)

電源・その他

動作電源 : 単3形アルカリ乾電池(6本・市販品)
単3形eneloop(6本・市販品)
単3形充電式EVOLTA(6本・市販品)
指定ACアダプター(AD-A95100L・別売)(家庭用100V電源使用)

消費電力 : 9W

オートパワーオフ : 約6分

大きさ : 幅189mm×奥行115mm×高さ54.5mm

重さ : 約580g(電池含む)

使用温度 : 10℃~35℃

別売品について

本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mmです。別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下のURL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

- 専用ACアダプター
AD-A95100L
- ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅~24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。
- クリーニングテープ
XR-18CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

- ・品切れの際はご容赦ください。
- ・別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

アルファベット・数字

ACアダプター	72
CD-R用ラベル	88
2行印字	39

あ行

アフターサービス	95
網掛	67
アルファベットの入れかた	57
印刷	26
印刷濃度	69
印刷プレビュー	22, 29
印刷方向	40
印字行数	91
印字サイズ	42
印字密度	91
裏書き	41
上書き	62
絵文字	59
絵文字一覧	84
エラーメッセージ	79
オートパワーオフ	18
大文字の入れかた(アルファベット)	57

か行

カーソル	48
改行	39
確定	54
各部の名前	12
下線(修飾)	67
下線(変換)	55
カタカナの入れかた	52
カタカナ変換	52
カットマーク	27
かな漢字まじり文の入れかた	54
かな入力	50
画面の見かた	25
漢字の入れかた	54
キー	22

キーボード	22
キーのはたらき	22
記号一覧	84
記号の入れかた	58
輝度(画面)	69
行頭	48
行末	48
クリーニング	74
ゴムローラー	74
小文字の入れかた(アルファベット)	57
小文字(促音・拗音)の入れかた (ひらがな・カタカナ)	53
こんなときは(トラブルシューティング)	76

さ行

削除(文削除)	61
削除(文字削除)	60
ジャストフィット印刷	39
熟語変換	54
仕様	91
使用できるテープ	83
初期化	17
初期設定	17
初期フォント	65
書体	63
白抜	66
数字の入れかた	57
スクロール	48
設定	
印刷濃度	69
輝度調整	69
初期フォント	65
挿入/上書き	62
テープ幅	71
余白	70
カットマーク	70
電池	71
ローマ字/かな入力	49
前候補	55

全文削除	61
挿入	61
た行	
縦書き	40
単漢字変換	56
定型フォーマット	34
定型フォーマット一覧	88
データの登録	46
データの保持	80
データの呼出し	47
テープ	19
テープ送り	29
テープカートリッジ	19
テープカートリッジのセット	19
テープカートリッジの取り出し	21
テープガイド	19
テープカット	28
テープ出口	12
テープ幅と行数・倍率一覧	83
電源	18
電源を入れる	18
電源を切る	18
電池をセットする	15
登録	46
同音異義語変換	55
トラブルシューティング	76

な行

名前シール	37
名前シールフォーマット一覧	90
入力	
絵文字	59
記号	58
文字	49

は行

パレット	63
微小フォント	65
表示画面	25
ひらがなの入れかた	51
フォーマット	34

フォント(書体)	63
複数行の印字	39
付属品	13
フリーラベル	33
プリンターヘッド	21
フレーム	44
フレーム一覧	87
プレビュー画面	29
プロデュース	63
文削除	61
別売品について	92
変換	

カタカナ	52
熟語	54
単漢字	56
同音異義語	55

方向(印刷方向)	40
保証	95
ボンジュール	63

ま行

丸ゴシック体	63
明朝体	63
メモリー(登録)	46
メモリーの初期化(リセット)	17
メロディ	63
文字キー	23
文字サイズ	42
文字削除	60
文字修飾	67
文字体	66
文字の入れかた	49
文字の訂正	61
文字倍率	42

ら行

リセット(初期化)	17
ローマ字入力	50
ローマ字入力一覧	81

わ行

枠付	67
----	----